

# 平成30年度 全国自治体調査結果報告書

## 自治体ガラスびんリサイクルの現状

1. ガラスびん排出・収集頻度	1
2. ガラスびん排出・収集方法	2
3. ガラスびん排出・収集容器	3
4. ガラスびん収集・収集形態	4
5. ガラスびん収集・運搬方法	5
6. キャップについての住民への広報	6
7. 無色透明ドレッシングびん・食用油びんの収集	7

- 全国**1,741**自治体に送付し、**1,215**自治体から回答があった。
- 回答率：自治体数で**69.8%**（去年は、**1,191**自治体 **68.4%**）  
人口比で**86.7%**（去年は、**79.7%**）

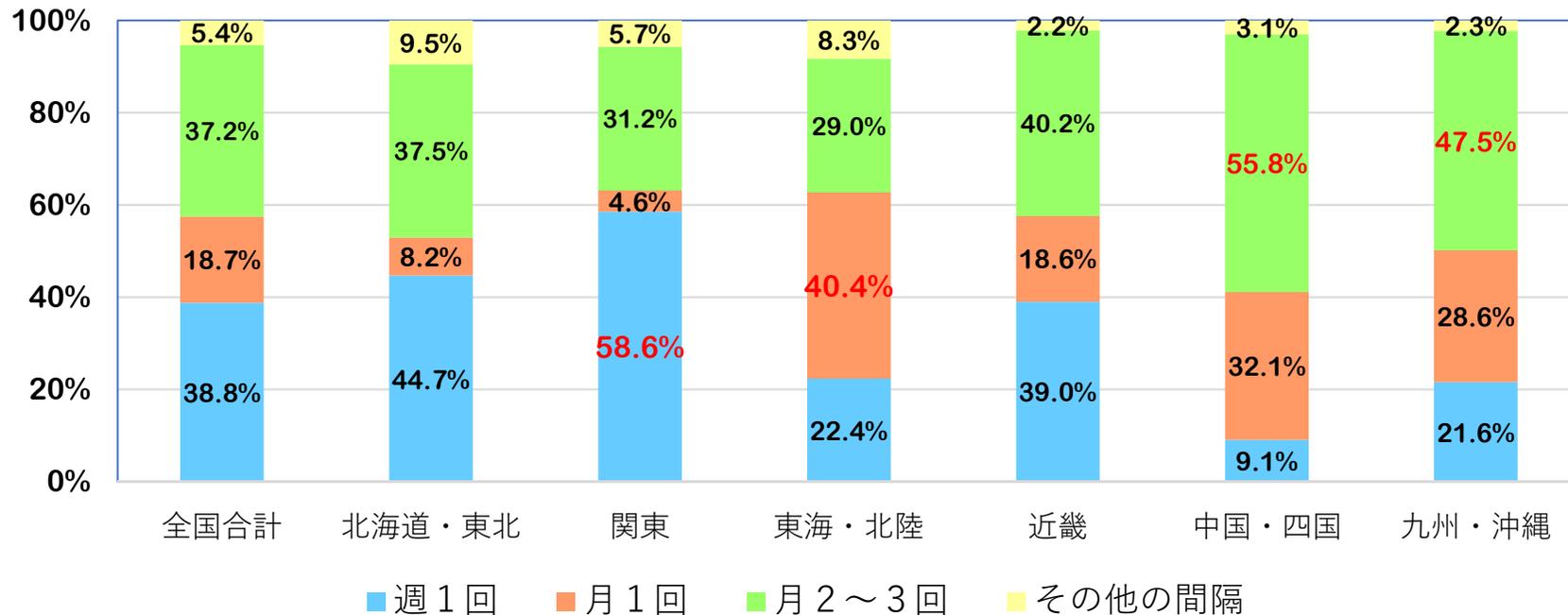
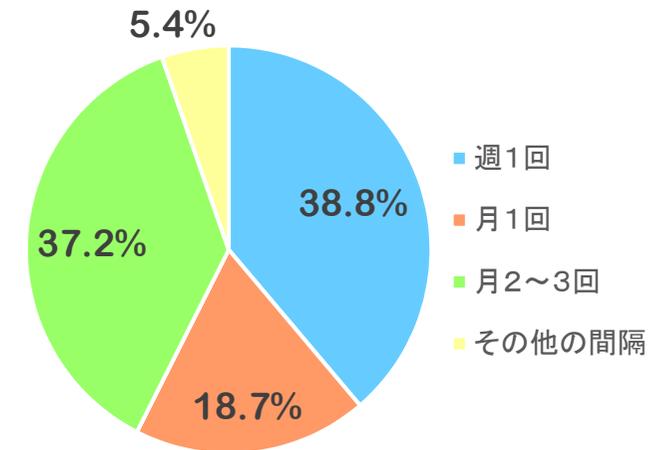


## 2. ガラスびん排出・収集頻度

- 週1回が過半 ⇒ 関東
- 月1回が多い ⇒ 東海・北陸
- 月2～3回が多い ⇒ 中国・四国、九州・沖縄

【人口比】	週1回	月1回	月2～3回	その他の間隔
全国合計	38.8%	18.7%	37.2%	5.4%
北海道・東北	44.7%	8.2%	37.5%	9.5%
関東	58.6%	4.6%	31.2%	5.7%
東海・北陸	22.4%	40.4%	29.0%	8.3%
近畿	39.0%	18.6%	40.2%	2.2%
中国・四国	9.1%	32.1%	55.8%	3.1%
九州・沖縄	21.6%	28.6%	47.5%	2.3%

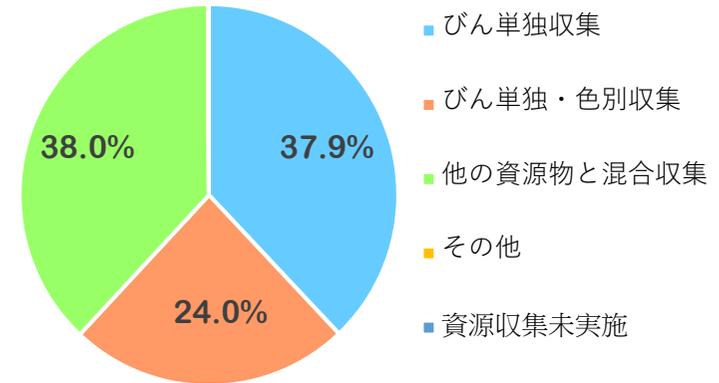
全国合計【人口比】



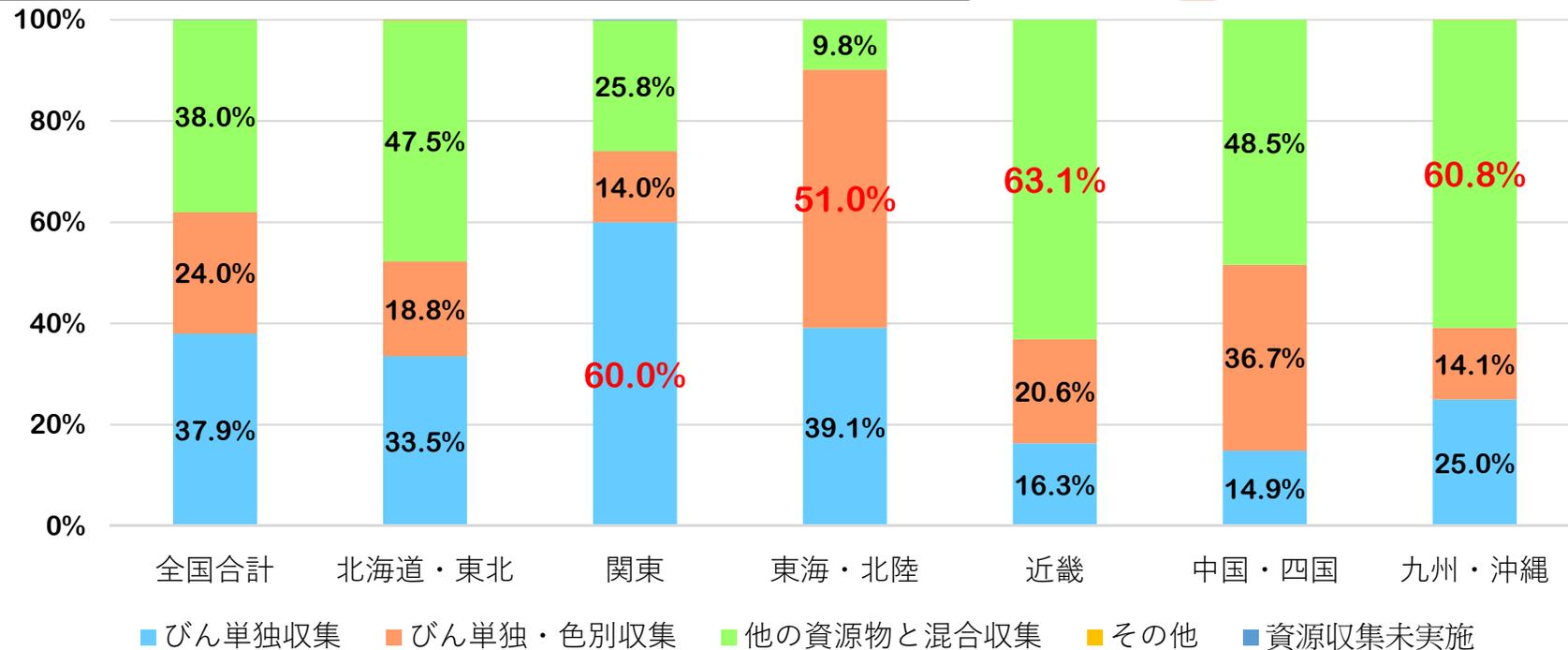
### 3. ガラスびん排出・収集方法

- びん単独収集が過半数 ⇒ 関東、びん単独・色別収集が過半数 ⇒ 東海・北陸
- 他資源物と混合収集が過半数 ⇒ 近畿、九州・沖縄

全国合計【人口比】



【人口比】	びん単独収集	びん単独・色別収集	他の資源物と混合収集	その他	資源収集未実施
全国合計	37.9%	24.0%	38.0%	0.0%	0.1%
北海道・東北	33.5%	18.8%	47.5%	0.1%	0.1%
関東	60.0%	14.0%	25.8%	0.0%	0.2%
東海・北陸	39.1%	51.0%	9.8%	0.0%	0.0%
近畿	16.3%	20.6%	63.1%	0.0%	0.0%
中国・四国	14.9%	36.7%	48.5%	0.0%	0.0%
九州・沖縄	25.0%	14.1%	60.8%	0.1%	0.0%

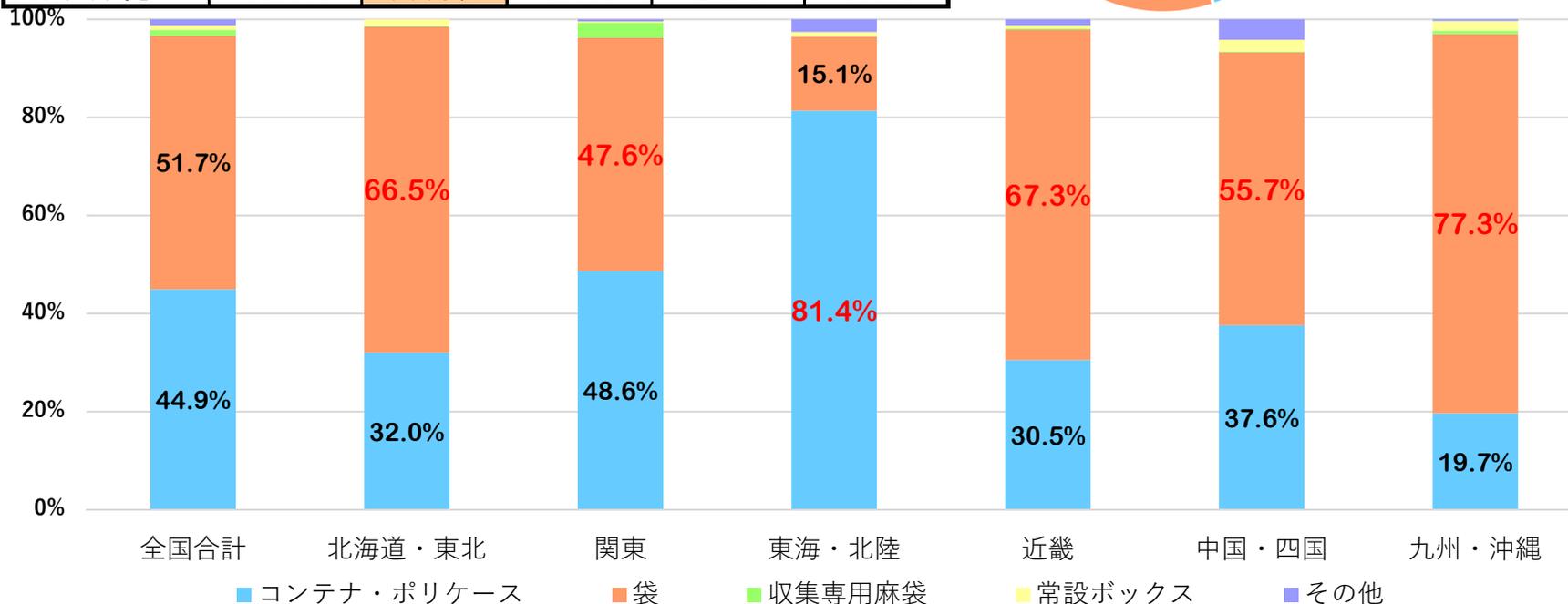
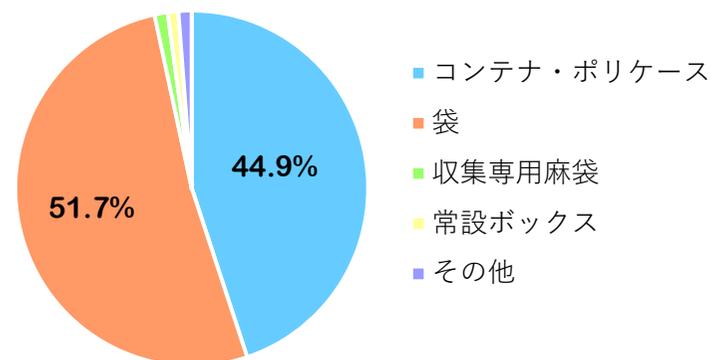


# 4. ガラスびん排出・収集容器

- コンテナ・ポリケースが過半数 ⇒ 東海・北陸（80%以上）
- 袋収集が過半数 ⇒ 北海道・東北、近畿、中国・四国、九州・沖縄（70%以上）

【人口比】	コンテナ・ポリケース	袋	収集専用麻袋	常設ボックス	その他
全国合計	44.9%	51.7%	1.2%	1.0%	1.2%
北海道・東北	32.0%	66.5%	0.2%	1.3%	0.0%
関東	48.6%	47.6%	3.1%	0.3%	0.4%
東海・北陸	81.4%	15.1%	0.0%	0.9%	2.6%
近畿	30.5%	67.3%	0.2%	0.7%	1.2%
中国・四国	37.6%	55.7%	0.1%	2.4%	4.2%
九州・沖縄	19.7%	77.3%	0.6%	2.0%	0.4%

全国合計【人口比】

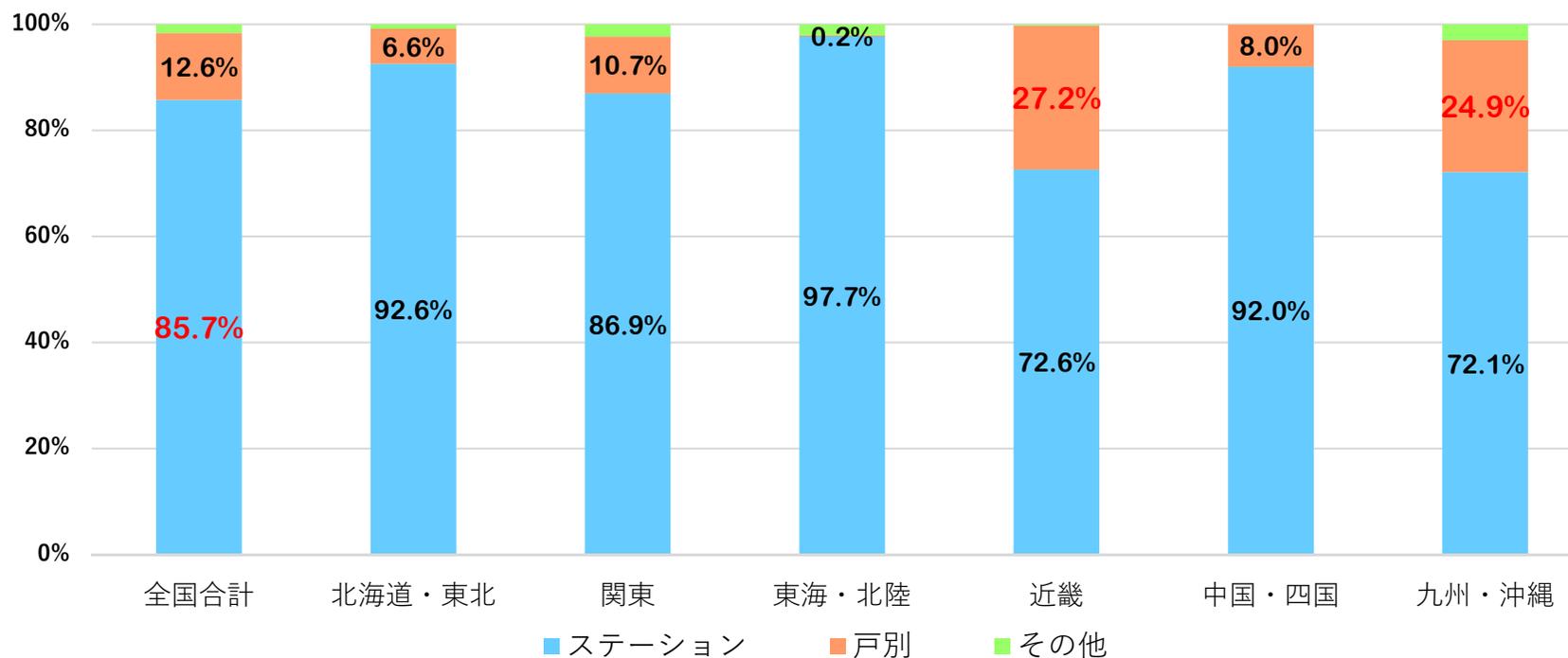
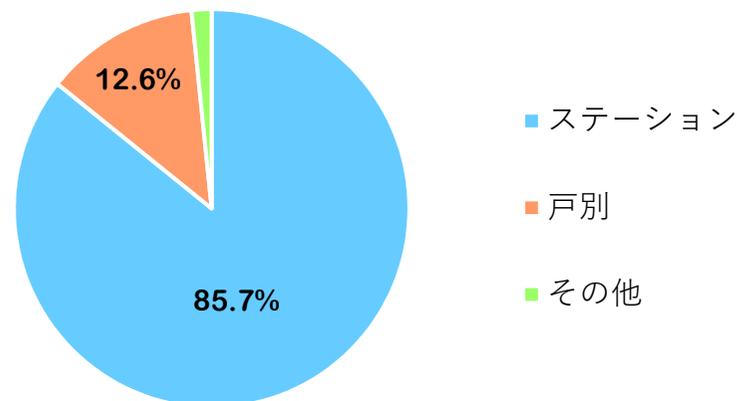


## 5. ガラスびん収集・収集形態

- ステーションが圧倒的に多い
- 戸別回収が比較的多いのは、近畿、九州・沖縄

【人口比】	ステーション	戸別	その他
全国合計	<b>85.7%</b>	12.6%	1.6%
北海道・東北	92.6%	6.6%	0.9%
関東	86.9%	10.7%	2.3%
東海・北陸	97.7%	0.2%	2.1%
近畿	72.6%	<b>27.2%</b>	0.2%
中国・四国	92.0%	8.0%	0.0%
九州・沖縄	72.1%	<b>24.9%</b>	3.0%

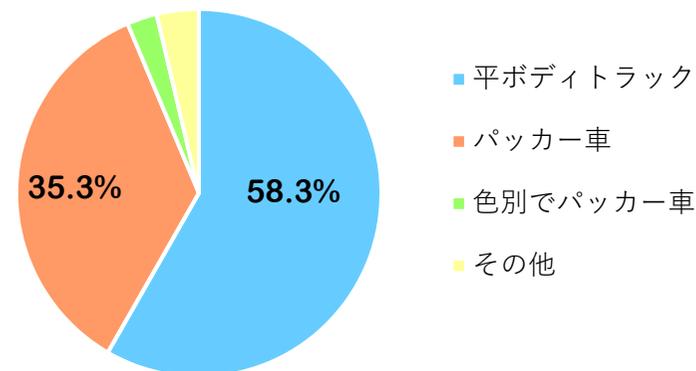
全国合計【人口比】



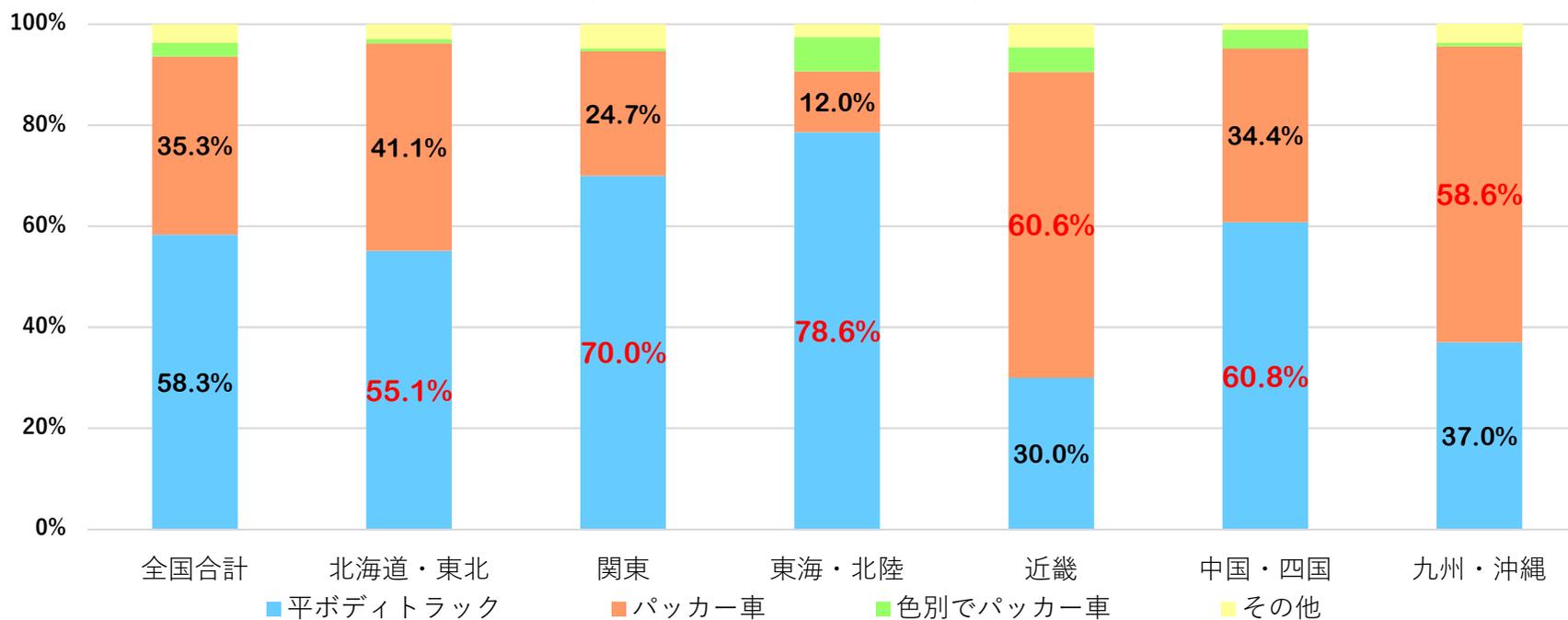
## 6. ガラスびん収集・運搬方法

- 平ボディトラックが過半数 ⇒ 北海道・東北、関東、東海・北陸、中国・四国
- パッカー車が過半数 ⇒ 近畿、九州・沖縄
- 色別でパッカー車とは、
  - 同時に3色を積める改造パッカー車
  - 一層のパッカー車が各色3回収集

全国合計【人口比】



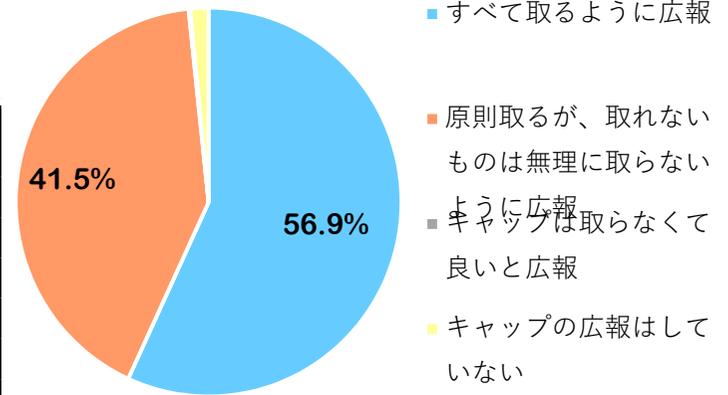
【人口比】	平ボディトラック	パッカー車	色別でパッカー車	その他
全国合計	58.3%	35.3%	2.7%	3.7%
北海道・東北	55.1%	41.1%	0.8%	3.0%
関東	70.0%	24.7%	0.5%	4.8%
東海・北陸	78.6%	12.0%	6.8%	2.6%
近畿	30.0%	60.6%	4.9%	4.6%
中国・四国	60.8%	34.4%	3.8%	1.1%
九州・沖縄	37.0%	58.6%	0.6%	3.7%



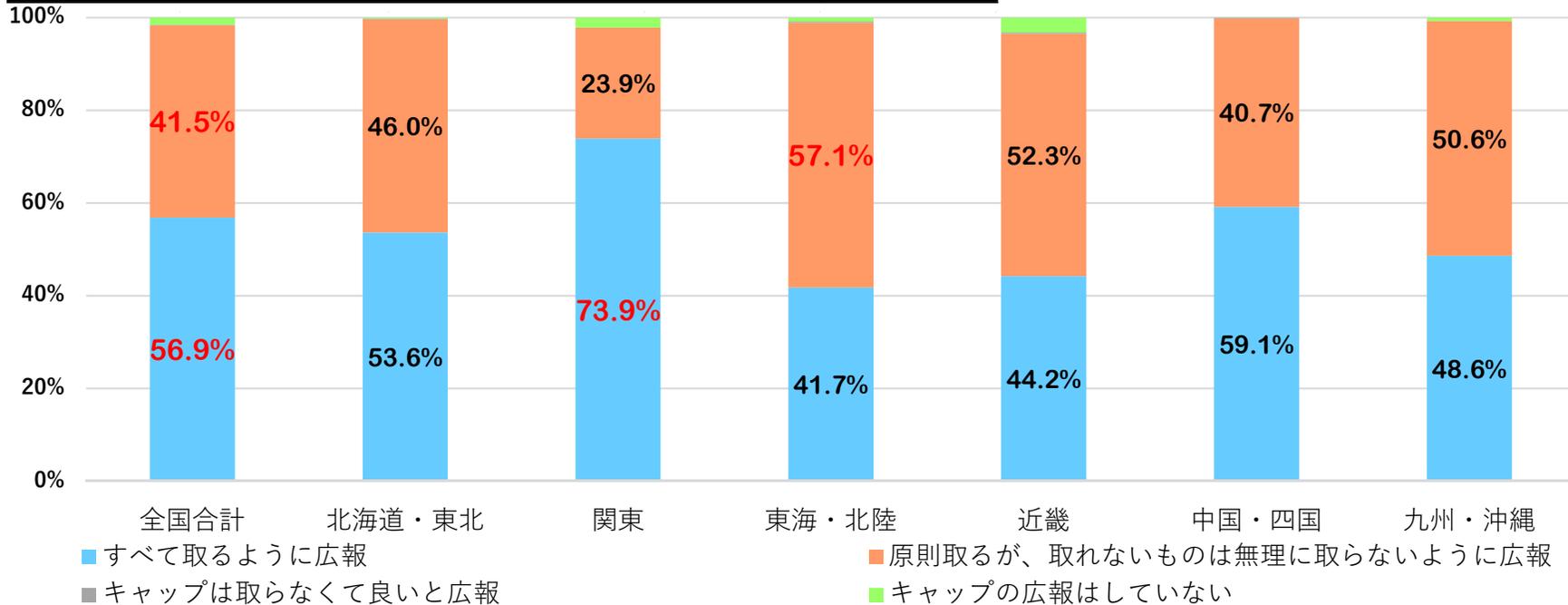
# 7. キャップについての住民への広報

- すべて取ると原則取るを合わせた割合は、全国で98%強
- すべて取るように広報は、他と比べて、関東の割合が高い
- 原則取るが、取れないものは無理に外さなくて良いの割合が高いのは、東海・北陸

全国合計【人口比】



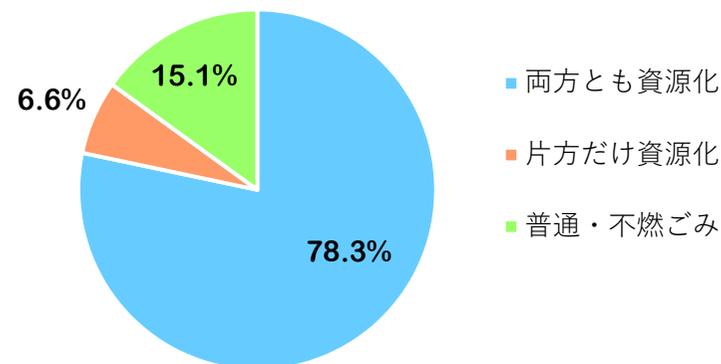
【人口比】	すべて取るように広報	原則取るが、取れないものは無理に取らないように広報	キャップは取らなくて良いと広報	キャップの広報はしていない
全国合計	56.9%	41.5%	0.1%	1.5%
北海道・東北	53.6%	46.0%	0.2%	0.2%
関東	73.9%	23.9%	0.0%	2.2%
東海・北陸	41.7%	57.1%	0.3%	0.9%
近畿	44.2%	52.3%	0.3%	3.2%
中国・四国	59.1%	40.7%	0.1%	0.0%
九州・沖縄	48.6%	50.6%	0.0%	0.7%



# 8. 無色ドレッシングびん・食用油びんの収集

- 両方とも資源化が多数。ただし、中が汚れていない条件付き
- 割合が高いのは、東海・北陸、近畿
- 片方だけ資源化では、ドレッシングとの回答がほとんど
- ごみにしている割合が他の地域と比べて高いのは関東

全国合計【人口比】



【人口比】	両方とも資源化	片方だけ資源化	普通・不燃ごみ
全国合計	78.3%	6.6%	15.1%
北海道・東北	73.3%	13.3%	13.5%
関東	69.3%	7.7%	23.0%
東海・北陸	86.3%	1.8%	12.0%
近畿	93.5%	2.6%	3.9%
中国・四国	75.5%	9.5%	15.0%
九州・沖縄	78.0%	7.8%	14.2%

